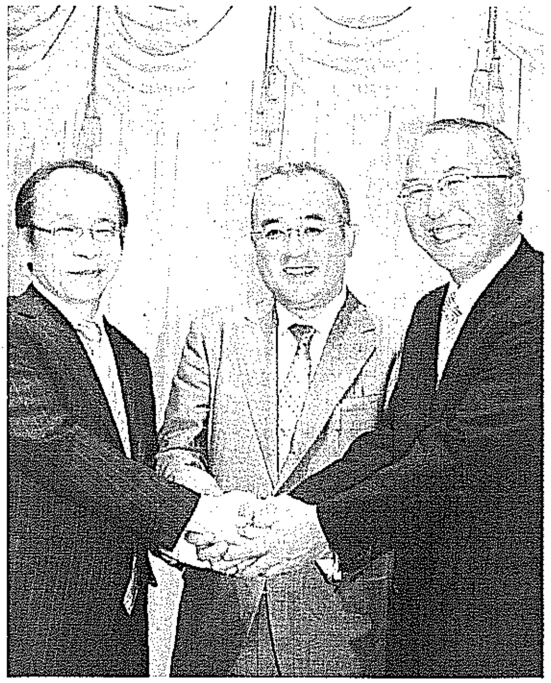
地方経済

マルナカ、イオン、三菱商事業務提携

海外からの商品調達、生鮮食品…

「互いの弱点補える」

マルナカグループとイオン、三菱商事の業務提携が発表された11日、マルナカの中山明憲専務（山陽マルナカ社長）とイオンの坂野邦雄執行役らが高松市内で会見し、「互いの弱点を補える」と提携のメリットを語った。（1面関連）


提携の会見で握手する（左から）坂野邦雄イオン執行役、中山明憲マルナカ専務、森山透三菱商事生活産業グループCOO

「生鮮中心の経営で必要な投資を行わず、時代の変化に対する危機感を持っていた」。マルナカの中山専務は今回の提携の背景を打ち明けた。

人口減少や消費低迷が続く中、スーパー業界は生鮮食料品や上質な衣料品、ファストフードなどを集積した近隣型ショッピングセンター化への転換など、店舗形態が変化。さらに、店舗運営面でも電子マネーやネット販売への短期間での対応が迫られている。

今回、マルナカ側が期待する分野として挙げたのが、海外からの商品調達▽ネットスーパー事業や電子マネーの導入をはじめとしたIT（情報技術）関連▽日用雑貨や衣料品の充実。

中山専務は「海外からの商品調達は当社の規模で単独では難しい。三菱商事の協力を得たい」とし、IT関係では「技術革新が進む中、ネットスーパーやカード事業での展開で、イオンの力を借りられる」と説明。さらに「（当社は）日用雑貨、衣料品に弱点がある」とし「イオンの強みを生かし、早い時期に売り場や商品を変えていく」と語った。

このほか、プライベートブランド商品の共同開発やイオンの物流システムの活用なども想定しており、「ローコストで成果を挙げられる」と強調した。

一方、イオン側は、マルナカの強みである生鮮食品や地域密着型の店舗展開に着目。坂野執行役は「生鮮食品は、産地や生産者と関係を持ち、スピーディーに鮮度を保ったまま、いかに低価格で提供できるかが重要。時間をかけず互いの弱みを補っていきたい」と話した。

（重成啓子、伊東圭一）

新規滞納額309億円

09年度中国地方 広島国税局発表 2年ぶり減少

広島国税局がまとめた2009年度の中国地方の租税滞納状況によると、新規発生滞納額は309億7千万円（前年度比25・9％減）で、2年ぶりに減少した。徴収決定済み額に占める滞納額の割合は前年度比0・5㌽減の1・6％で、2年ぶりに2％を下回った。

新規に発生した滞納額の税目別は、消費税170億5800万円（同11・9％減）▽申告所得税52億3900万円（同24・6％減）▽法人税48億9600万円（同58・3％減）▽源泉所得税26億2400万円（同13・4％減）―など。

新規発生滞納額と前年度までの滞納分のうち、回収を終えた額は325億5400万円（同25・1％減）。未納残高は326億3800万円（同4・6％減）で、11年連続で減少している。

同局は「前年は不動産関係の大型倒産で法人税の新規発生滞納額が膨らんだが、期限内収納の徹底に努めており、全体では減少傾向にある」としている。

（正本和臣）

よろしく

日銀高松支店長になった

清水（しみず） 季子（ときこ）さん

期待を良いプレッシャーに

1882年の日銀開業以来、初の女性支店長として7月、香川、徳島を管轄する高松支店のトップに就任した。福井俊彦前総裁や第24代総裁の故前川春雄氏を輩出した名門ポスト。「支店長業務に女性だからできる、というのはないんですが」と前置きし、「男性ではなかったであろう皆さんからの期待感を、良い意味でのプレッシャーとし、日本が抱える課題に高松からチャレンジしていく」と力強く抱負を語る。

東京大工学部出身。都市工学を学んだ。文系出身が大半を占める日銀の中では〝異色〟。金融市場動向の分析や為替介入などを担当する金融市場局の勤務が長く、前任地のロンドンでは事務所次長を務めた。「しなやかにたくましく」がモットー。「日々変化する金融情勢を柔軟に受け止めながら、力強く仕事に取り組む」と言う。

香川県の経済情勢については「自動車など輸出産業が少なく、なかなか回復の波に乗れていない」と分析。「素晴らしい自然や文化、技術があり、世界に発信できる潜在力はある。これらの強みを生かした独自の成長メカニズムを追求する必要がある」と今後の飛躍に期待する。

趣味はゴルフやテニスなど「体を動かすこと」。和装で歌舞伎を楽しむ一面も。「こんぴら歌舞伎や小豆島の農村歌舞伎を鑑賞したい」と心待ちにする。東京都出身。45歳。

（田中泰）

男女かつらと増毛
スタイル変更簡易修理
全メーカー何でも相談
エーワン
岡山市北区番町
1-14-18
☎0120-779-300

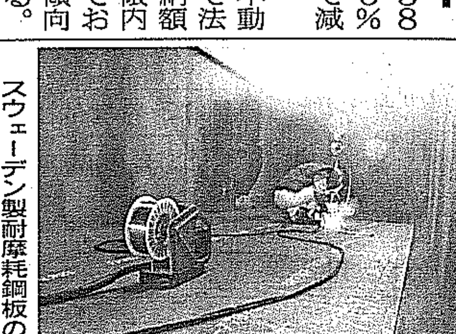
共和工業所

スウェーデン製耐摩耗用

鋼板を加工販売

金属、機械加工などの共和工業所（倉敷市松江）は、スウェーデンの特殊鋼メーカー・スウェーデンスティール社の耐摩耗鋼板の加工販売を始めた。硬度に優れる半面、加工が難しいため競合企業が少ない同鋼板の取り扱いで、売り上げ増加を目指す。

商品名は「HARDOX（ハルドックス）」。通常の鋼板に比べて20～5倍の耐摩耗性がある。ダンプカーの荷台の内張りや建設機械のボディーといった高い硬度を要求される部分に使えば、従来より厚さを抑えられ、軽量化が可能。製品の寿命も伸ばせるなどのメリットがある。


スウェーデン製耐摩耗鋼板の加工作業＝共和工業所

共和工業所によると、国内で同鋼板を販売する企業はあるが、加工まで手掛けるのは珍しいという。

同社は、既存設備で切断や曲げ、穴あけ、切削などの加工を施し、顧客の注文に対応。現在、加工ノウハウの蓄積に努めており、徐々に作業領域を広げていく計画。

価格は通常の鋼板の3～5倍。利益率も高く、取扱量を増やすことで収益の底上げを図る。3年後には、鋼板部門の取扱量の約1割に当たる年間2400ｔを販売し、約1億円の売り上げ増を目指す。

同社は1955年設立。資本金4500万円。従業員約60人。売上高9億2千万円（2009年8月期）。

（田中泰）

決算

（11日）

販売価格低下や資材高で初減収

穴吹興産（高松市鍛冶屋町）＝10年6月期、連結

売上高657億7900万円（前期比1・7％減）▽経常利益10億9400万円（同16・7％減）▽純利益6億6000万円（同26・4％減）

11年6月期予想＝売上高559億4000万円▽経常利益16億1000万円▽純利益7億円

分譲マンションの売り上げ戸数は過去最高の2152戸だったが、景気悪化に伴う販売価格低下や建築資材の高騰などが響き、連結決算を導入した2002年以来、初の減収、2年連続の減益となった。

液晶テレビなど販売増加し増収

大倉工業（丸亀市中津町）＝10年6月中間期、連結

売上高387億7100万円（前年同期比12・4％増）▽経常利益7億2100万円（前年同期は経常損失5800万円）▽純利益8億5500万円（同純損失9億8400万円）

10年12月期予想＝売上高800億円▽経常利益8億5000万円▽純利益5億5000万円

景気回復に伴い、液晶テレビや携帯電話向け光学フィルムなどの販売が増加。中間期では4年ぶりの増収、経常損益は3年ぶりの黒字となった。

主力販売不振も宣伝費減で黒字

はるやま商事（岡山市北区表町）＝11年3月期第1・四半期（10年4～6月）、連結

売上高127億1700万円（前年同期比3・3％減）▽経常利益2億5700万円（前年同期は経常損失7300万円）▽純損失6億6000万円（同純損失1億3200万円）

天候不順の影響で主力のスーツ販売が伸び悩んだが、広告宣伝費の削減などで経常損益は黒字となった。資産除去債務に関する新会計基準の適用に伴う特別損失計上で純損失が拡大した。

不良債権処理減り経常利益増

香川銀行（高松市亀井町）＝11年3月期第1・四半期（10年4～6月）、単体

経常収益73億7900万円（前年同期比3・4％減）▽経常利益17億6700万円（同123・1％増）▽純利益15億6900万円（同59・1％増）▽業務純益20億8300万円（同18・6％増）

貸出金利息や株式売却益の減少で減収となったが、不良債権処理損失の減少で経常利益は大幅に伸びた。金融再生法に基づく不良債権開示額は494億円（3月末は632億円）。自己資本比率は中間期に公表する。

未来バスに試乗しよう

26日に両備HD

小学生以下の参加者募る

両備ホールディングス（両備HD、岡山市北区錦町）は26日、路線バスとして導入予定の「未来バス」の試乗会を開く。小学生以下の子どもの参加者20人を13日から募集する。

未来バスは両備グループ創立100周年を記念して岡山市内の路線に導入。時期は未定。詳細は明らかにしていないが、新車を改装し「子どもに夢を与えられる最新技術を搭載した」という。

当日は午前11時までに両備HD錦町オフィスに集合。完成披露式後に周辺を走る。記念品としてグループの和歌山電鉄（和歌山市）の人気者の三毛猫「たま駅長」グッズを贈る。参加無料。定員になり次第、締め切る。申し込みは両備バスカンパニー（086―232―2116）。

各地相場 11日